

前田寛治 洋画家。人物写実画の名手で、構図が"前寛ばり"といわれるなど多大な影響を与えたが、早世した。

まえだかんじ

白馬会・・・1896 = 鳥取県東伯郡中北条村大字国壤で、生まれる。

日露戦争終・1905 = **9歳** :

伊藤博文暗殺1909 = 13歳 : 鳥取県立倉吉中学校に入学。同級にのちの日本共産党の指導者で社会思想家福本和夫がいた。

第一次大戦始1914 = **18歳** :

21ヶ条要求・1915 = 19歳 : 卒業後、中井金三に西洋画の手ほどきを受け、

民本主義・・・1916 = 20歳 : 東京美術学校西洋画科に入学。

大暴落・・・1920 = 24歳 : {東伯画会}の結成に参加。まもなく{砂丘社}と改名され、第1回砂丘社展が倉吉で開催される。

原敬首相暗殺1921 = 25歳 : 卒業。卒業制作は「老婆と子供」「自画像」の2点。帝展に「花と子供等」を出品。

水平社結成・1922 = 26歳 : *平和記念東京博覧会に「立てる子供等」を出品し褒状を授与される。フランスに渡る。

関東大震災・1923 = **27歳** :

治安維持法・1925 = 29歳 : *A・エスティニャール著「クールベその生涯と制作」を翻訳、原稿を日本に送り、{中央美術}に紹介された後、帰国。帝展で、「J.C嬢の像」が特選になる。

円本時代始・1926 = 30歳 : 里見勝蔵・木下孝則・小島善太郎と協議し、佐伯祐三を加えて{1930年協会}を結成、その第1回展に「二人の労働者」など、滞欧作40点を出品。帝展に「C嬢」「裸体」を出品。

金融恐慌・・・1927 = 31歳 : 帝展に出品した「横臥裸婦」が特選、「少女と子供」。

共産党事件・1928 = 32歳 : 1930年協会展に「赤い帽子の少女」「伏臥裸婦」など11点を出品。天沼に{前田写実研究所}を開設し、指導にあたる。帝展に「裸体」を出品。

世界恐慌・・・1929 = 33歳 : *1930年協会展に「棟梁の家族」など9点を出品。東京帝国大学付属病院に入院後、帝展に出品した「海」が帝国美術院賞となるが、

海軍軍縮条約1930 = 34歳 : 鼻孔内腫瘍(癌)で没した。